

経済成長をファイナンスするための資金供給

——シュンペーター的な視点——

GICコンファレンス「世界金融危機：日本からの教訓」

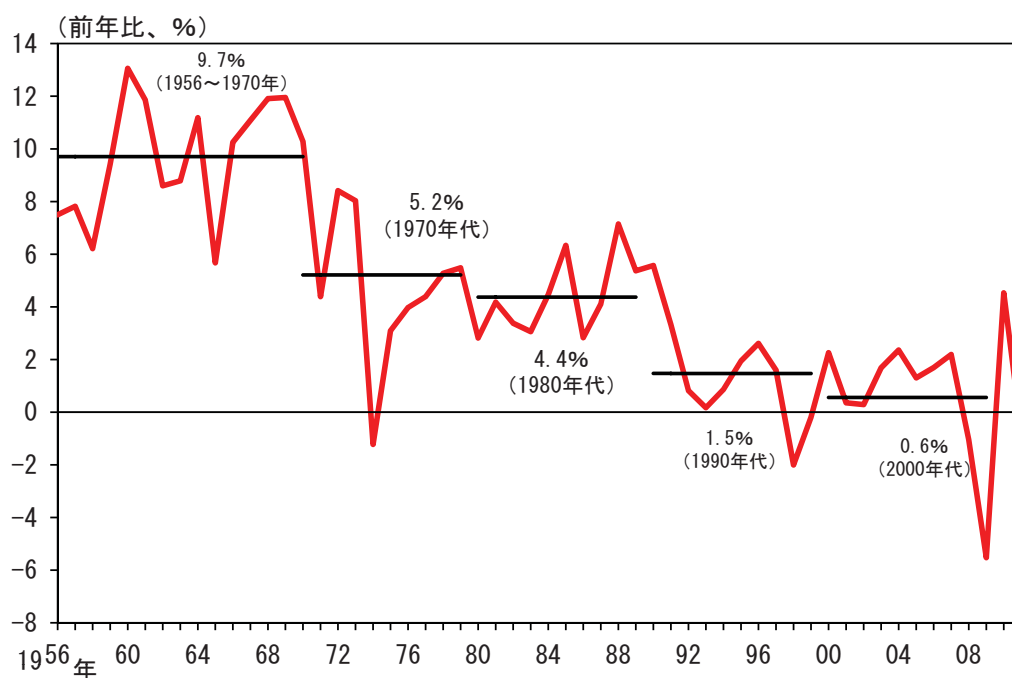
2012年12月3日

日本銀行副総裁

西村清彦

図表1

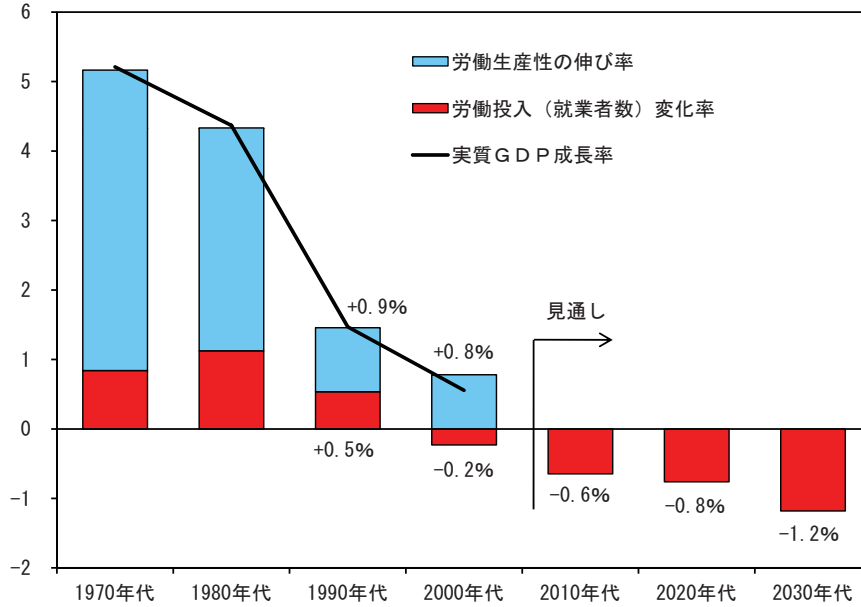
日本の実質GDP成長率



(資料) 内閣府

日本の実質GDP成長率の要因分解

(年平均変化率、寄与度、%)

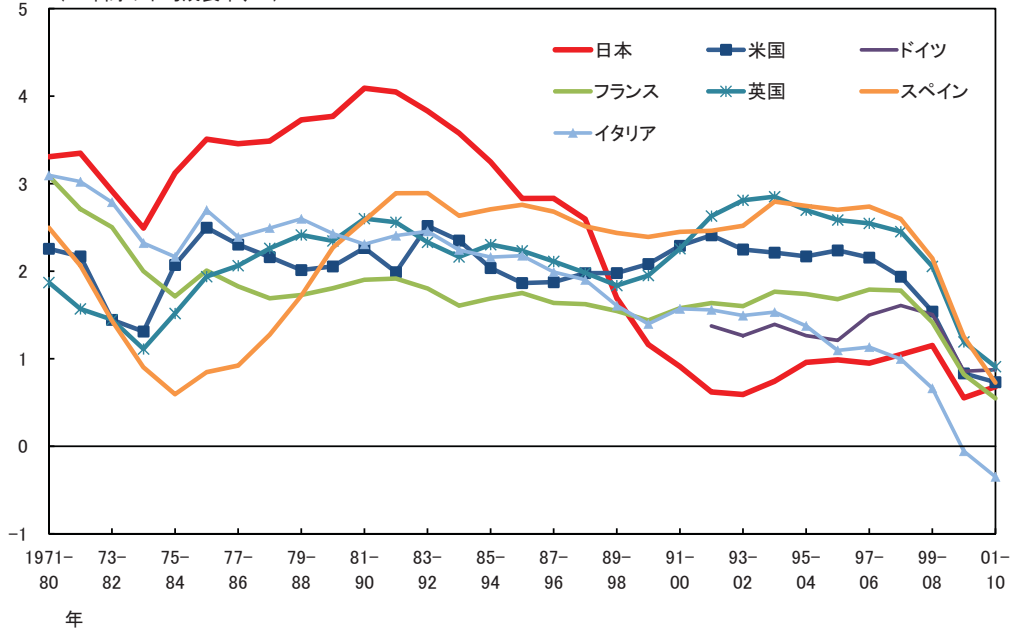


(注) 2012年以降の就業者数変化率は、将来人口の推計値(出生中位、死亡中位のケース)と労働力率の見通し(各年齢層・各性別の労働力率が2010年の値で横ばいで推移と仮定したもの)から試算した労働力人口の年平均変化率。

(資料) 内閣府、総務省、国立社会保障・人口問題研究所

主要国の総人口1人当たり実質GDP成長率

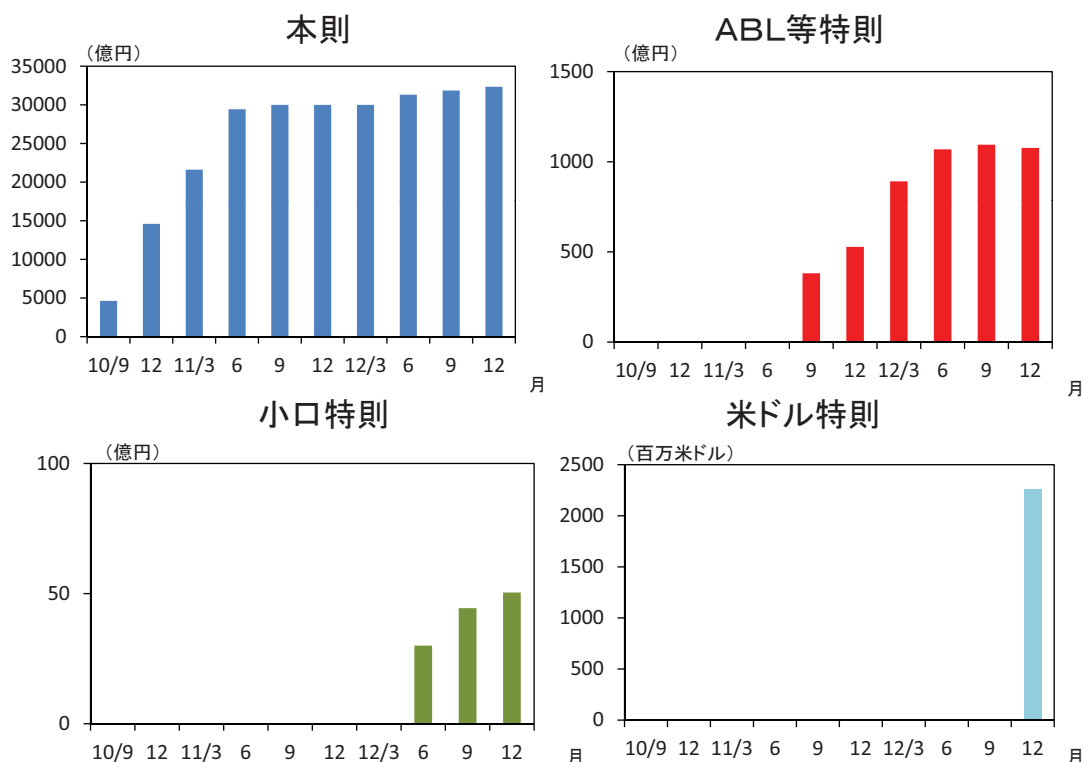
(10年間の平均成長率、%)



(資料) United Nations、各国統計

図表4

成長基盤強化を支援するための資金供給

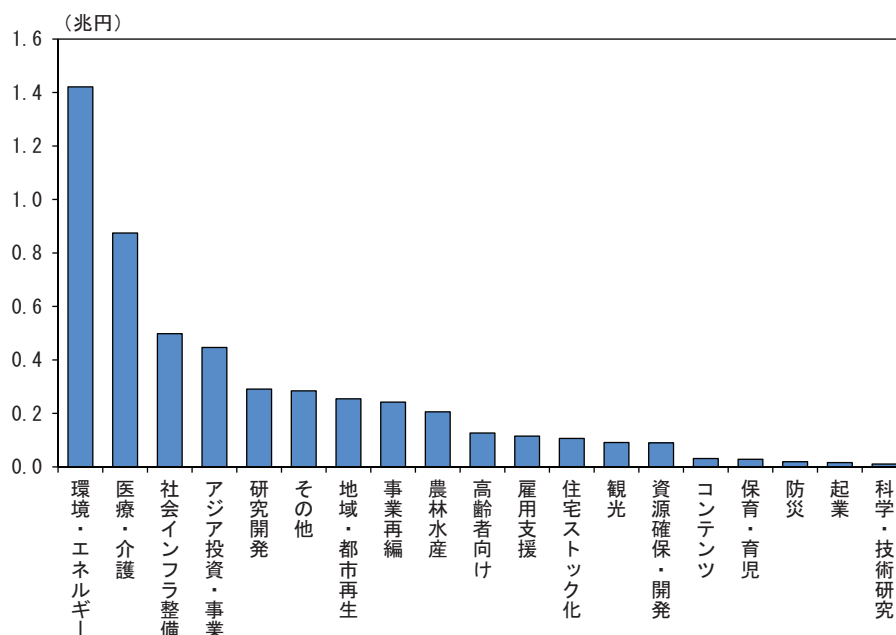


(注) 各時点の貸付残高の見込み。ただし、2010年12月のみは実績。

(出所) 日本銀行

図表5

金融機関等による成長基盤強化に向けた取り組み： 成長分野別の個別投融資額



(注) 本資金供給の「第1～10回<本則>、第6期<ABL等特則>および第3期<小口特則>分」として提出され、成長基盤強化に向けた取り組み方針のもとで実行されたことが確認された「個別投融資実績」の分布状況(ABL等特則は出資等に限る)。第1～10回<本則>、第6期<ABL等特則>および第3期<小口特則>分の個別投融資の単純合計であり、期日前返済や約定弁済等による減少を反映していない。

(出所) 日本銀行